JAXA Earth API アプリ　海面上昇シミュレーター　操作ガイド

「海面上昇シミュレーター」は陸域観測技術「だいち」（ALOS）の地形データを利用して、
海面上昇時に浸水する可能性のある場所を表示するアプリです。
※本シミュレーターは、地形データをもとに一定の高さ以下の場所を青色で表示するものです。
実際の浸水想定区域を示すハザードマップではありませんので、ご注意ください。

ご利用にあたって

本アプリは、授業や教材作成等にご利用いただけます。アプリへのリンク掲載も可能です。
画像を利用される場合は下記画像のようにクレジット部分を残すか、同様の内容を記載してください。

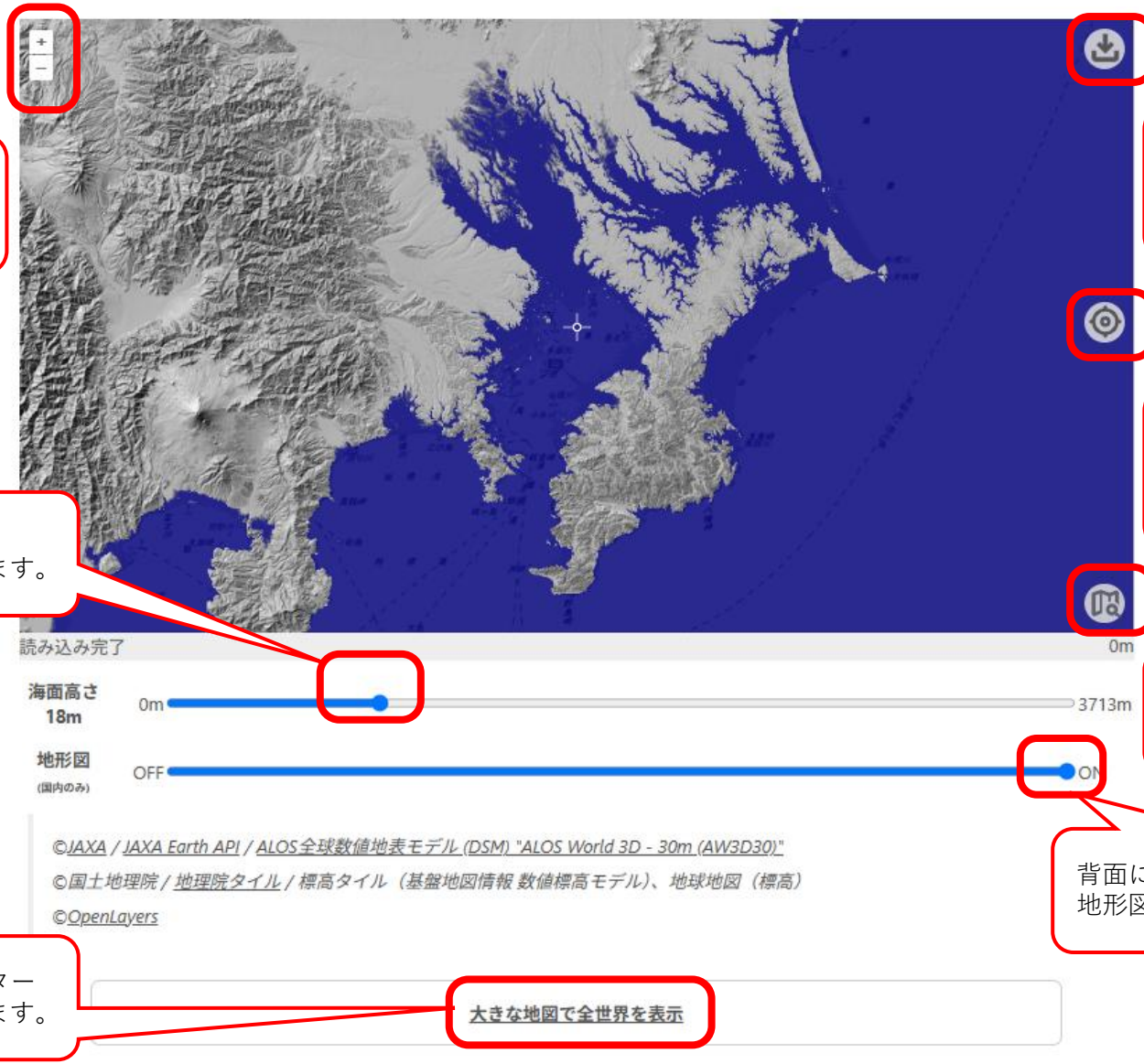
※利用条件の詳細は「JAXA Earth APIご利用条件」および「研究データ等の利用条件」をご参照ください。



「大きな地図で全世界を表示」で表示した場合

JAXA Earth API アプリ　海面上昇シミュレーター　操作方法

海面上昇シミュレーター：https://data.earth.jaxa.jp/app/sea-level-rise/



＋／－ボタンや
マウスホイールで
拡大・縮小できます。

表示範囲の地形データをCSV形式でダウンロードすることができます。

端末の位置情報が利用できる場合、
端末の現在位置を
表示します。

バーを動かして
海面の高さを変更します。

同じ場所を地図アプリで開くことができます。

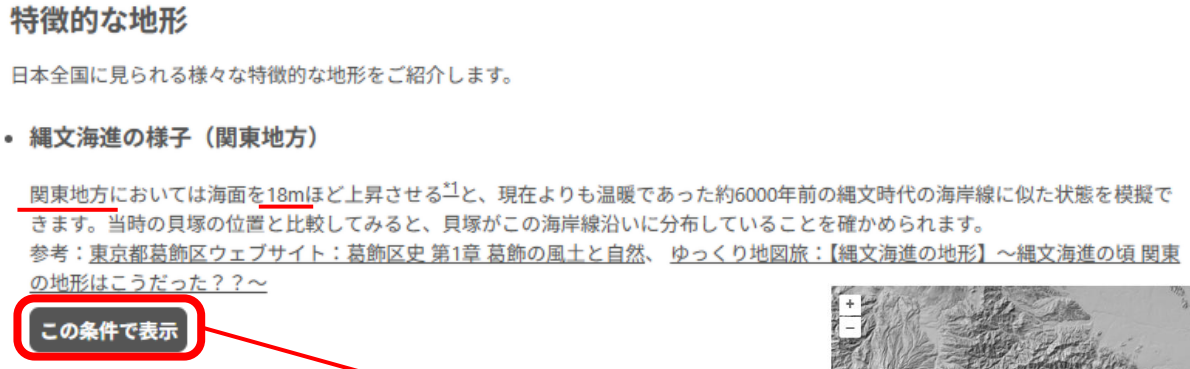
背面に表示されている
地形図の濃さを変更できます。

海面上昇シミュレーター
の画面が大きくなります。

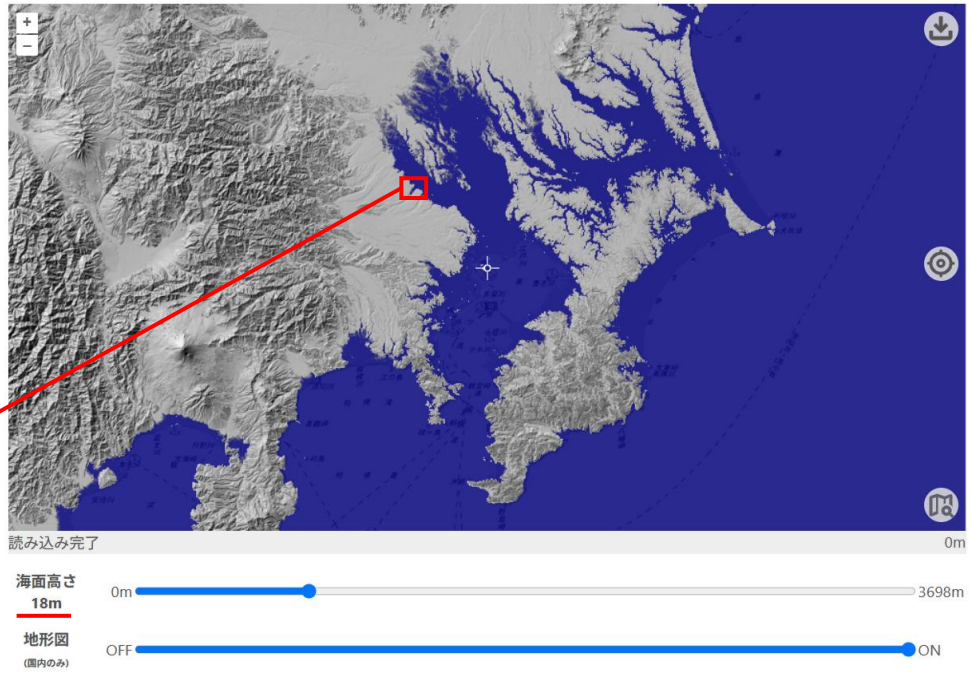
JAXA Earth API アプリ　海面上昇シミュレータ　おすすめポイント

「海面上昇シミュレーター」では画面下部の「特徴的な地形」のコーナーで特徴的な地形を観察できる地点を紹介しています。

さまざまな特徴的な地形を見てみましょう。



［この条件で表示］ボタンをクリックすると、紹介している地域へ移動し、設定された海面の高さで表示されます。



埼玉県富士見市の「水子貝塚」など約6000年前の貝塚の位置と見比べると、当時の海岸線付近に分布していることが分かります。

